

平成22年度いわて市町村行財政コンサルティング 診断調書（データ編）

市町村名 **山田町**

【普通会計の状況】

【表1】 財政力・歳入構造の自立度・安定度（⇒財政的な基礎体力はどうなっているか）

（単位：百万円、％）

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	県 平均 (H21)	H21年度の状況		
										順位	改善又は悪化の 傾向(H15比)	
標準財政規模(臨財債含む)		5,054	4,930	4,921	4,988	4,938	4,950	5,006			▲ 48	↓
財政力指数		0.26	0.26	0.27	0.28	0.29	0.29	0.28	0.35	21	0.02	↑
自主財源比率		19.1	22.0	21.5	23.8	26.7	27.0	21.8	28.1	24	2.7	↑
地 方 税	地方税額	1,080	1,098	1,099	1,127	1,230	1,265	1,196			116	↑
	地方税の歳入割合	13.5	13.8	15.4	16.2	17.9	18.7	15.8	23.0	19	2.3	↑
	市町村税の徴収率	82.7	81.8	80.5	80.4	83.4	84.4	83.4	91.7	34	0.7	↑
	国保税の徴収率	69.4	67.3	65.5	64.9	66.6	63.2	62.0	70.9	33	-7.4	↓
交 付 税	地方交付税額(臨財債含む)	3,802	3,601	3,524	3,518	3,443	3,506	3,563			▲ 239	↓
	交付税依存度	47.6	45.2	49.4	50.7	50.1	51.8	47.1	42.1	24	▲ 0.5	↑

（参考）H22財政力指数 0.27

【表2】 収支と基金残高（⇒基金の取崩しに頼る財政運営となっていないか。実質単年度収支の3年連続赤字は要注意）

実質収支比率		1.5	2.8	1.1	1.5	1.7	2.2	2.2	3.8	33	0.7 ↑
実質単年度収支比率		2.8	1.3	▲ 1.7	0.3	▲ 2.4	1.1	2.1	3.6	23	▲ 0.7 ↓
基 金	基金現在高	2,174	1,975	1,998	2,023	1,818	1,836	1,883			▲ 291 ↓
	うち財政調整基金	689	690	690	691	562	593	644			▲ 45 ↓
	うち減債基金	977	778	752	717	674	637	560			▲ 417 ↓
	基金残高倍率	43.0	40.1	40.6	40.6	36.8	37.1	37.6	31.9	10	▲ 5.4 ↓
連結実質赤字比率						-	-	0.00		-	
一借限度額（普通会計）		600	600	600	600	600	600	600			0 ↓
一借限度額倍率		11.9	12.2	12.2	12.0	12.2	12.1	12.0	18.8	6	0.1 ↓

※分母となる標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額分を加算している。（以下の比率において同じ。）

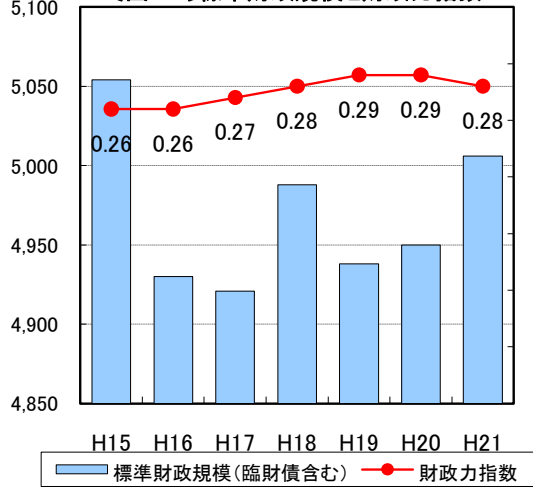
【表3】 歳出規模の適正度（⇒実質単年度収支が赤字の場合、身の丈にあった歳出規模となっているか）

歳出決算額	7,896	7,808	7,000	6,857	6,784	6,651	7,446			▲ 450 ↓
歳出決算倍率	156.2	158.4	142.2	137.5	137.4	134.4	148.7	159.3	9	▲ 7.5 ↑

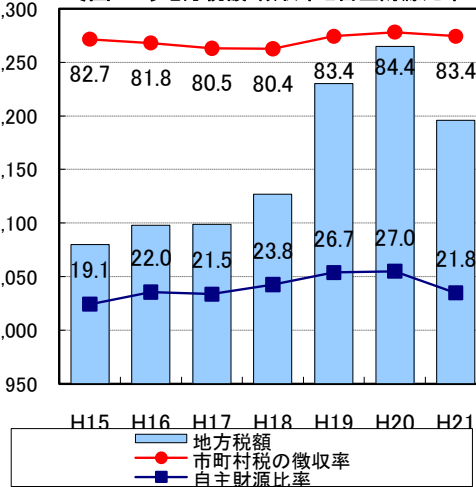
【表4】 財政構造の弾力性（⇒どの経常的経費の割合が高いか。義務的、経常的経費により財政が硬直化していないか）

経常収支比率		84.5	90.9	85.7	85.6	87.9	87.1	82.0	86.2	4	▲ 2.5 ↑
性 質 別 内 訳	人件費の比率	31.5	32.4	31.7	31.0	30.7	28.6	25.6	24.6	22	▲ 5.9 ↑
	物件費の比率	5.2	5.0	4.9	4.7	4.7	6.9	6.4	11.2	2	1.2 ↓
	維持補修費の比率	0.8	0.8	0.9	0.8	1.2	1.0	0.8	1.5	9	0.0 ↓
	扶助費の比率	4.4	4.9	4.5	4.9	5.1	4.4	5.1	5.4	20	0.7 ↓
	補助費等の比率	14.9	14.7	14.1	13.8	13.8	12.7	12.3	12.0	18	▲ 2.6 ↑
	公債費の比率	18.7	23.7	19.3	20.0	21.7	21.8	21.5	21.8	16	2.8 ↓
繰出金の比率		8.9	9.4	10.2	10.2	10.6	11.7	10.1	9.7	23	1.2 ↓
経常収支比率（公債費除き）		65.8	67.2	66.4	65.6	66.2	65.3	60.5	64.5	6	▲ 5.3 ↑

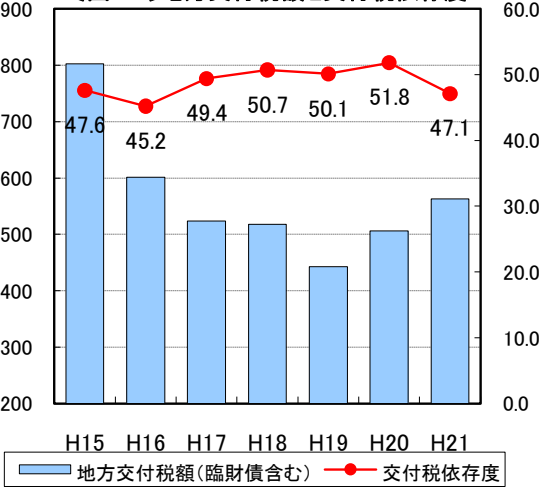
【図1-1】標準財政規模と財政力指数



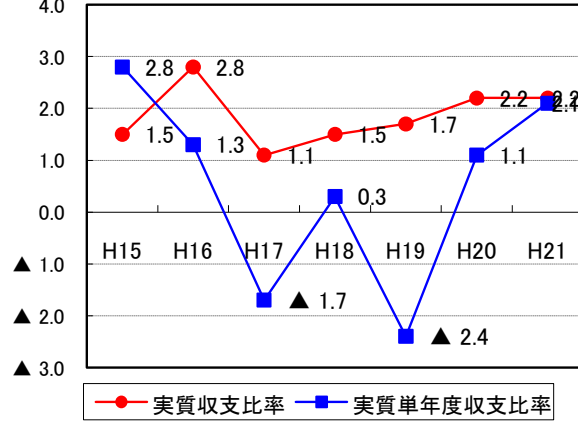
【図1-2】地方税額・徴収率と自主財源比率



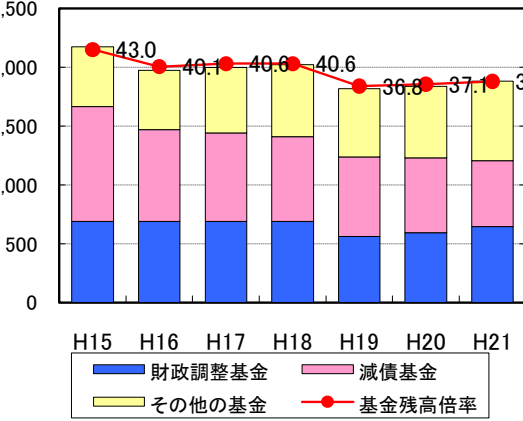
【図1-3】地方交付税額と交付税依存度



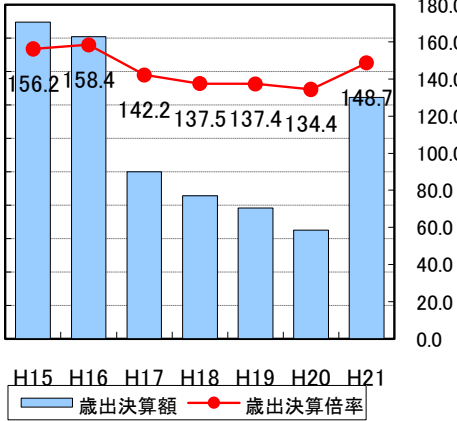
【図2-1】実質収支比率と実質単年度収支比率



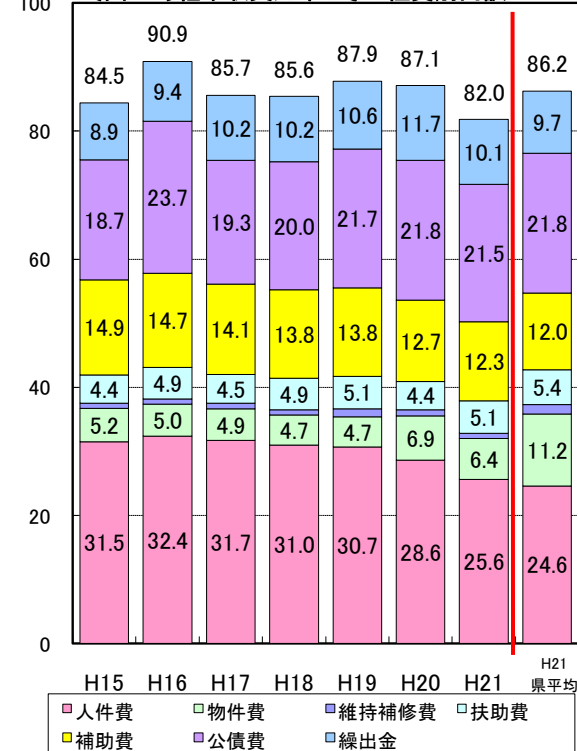
【図2-2】基金現在高と基金残高倍率



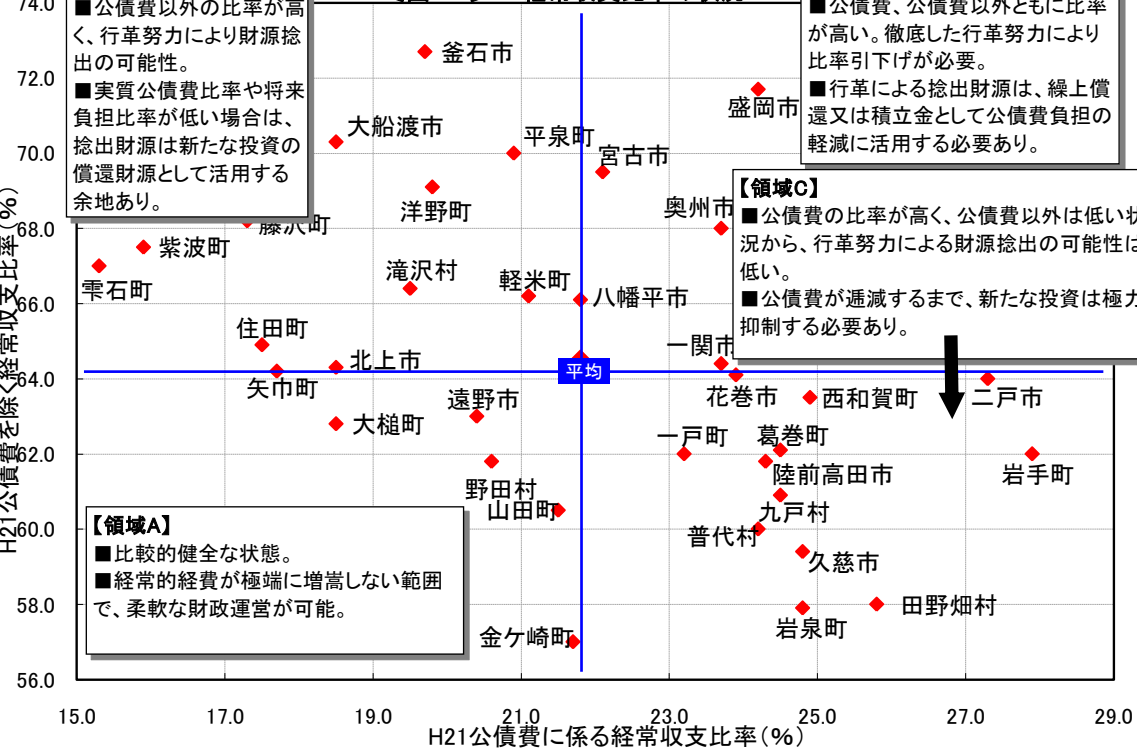
【図3】歳出規模



【図4-1】経常収支比率とその性質別内訳



【図4-2】H21経常収支比率の状況



〔表5〕人件費と公債費の適正度（⇒財政硬直の最大要因である人件費、公債費の状況はどうなっているか）（単位：百万円、％）

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	県 平均 (H21)	H21年度の状況 順位	改善又は悪化の 傾向(H15比)
職員 数と 人件 費	職員数	220	209	208	207	200	192	184			▲ 36 ↑
	うち普通会計関係	194	184	180	179	171	163	156			▲ 38 ↑
	うち企業会計等会計	26	25	28	28	29	29	28			2 ↓
	人口千人当たり職員数	10.4	10.0	10.1	10.2	10.0	9.8	9.5	9.9	26	▲ 0.9 ↓
	ラスパイレス指数(給与水準)	93.7	93.4	94.1	94.3	95.2	95.2	未定	95.5	25	1.5 ↓
費 公 債	公債費負担比率	16.9	20.8	17.6	18.6	19.6	20.1	19.0	18.3	20	2.1 ↓
	実質公債費比率(3カ年平均)			17.8	17.3	15.6	15.9	15.6	16.0	15	▲ 2.2 ↑

※職員数・ラスパイレス指数は(n+1)年度4月1日現在。 ※実質公債費比率は(n+1)年度の値

〔表6〕投資的経費の状況（⇒社会資本整備のための投資的経費の状況(歳出決算シェア)はどうなっているか）

歳出に占める普通建設事業費の割合	22.7	21.8	17.5	13.4	11.7	9.6	14.0	16.9	21	▲ 8.7	↓
うち単独事業	16.0	11.2	11.0	7.8	6.9	4.6	9.5	10.5	19	▲ 6.5	↓

〔表7〕プライマリーバランスと地方債残高の状況（⇒プライマリーバランスの黒字が確保されているか、結果として地方債残高はどうなっているか）

元金償還額(臨財債を含む)	759	991	790	817	893	932	992			233	↓
地方債発行額(臨財債を含む)	1,517	1,213	922	502	583	421	491			▲ 1,026	↑
地方債残高(臨財債を含む)	10,130	10,352	10,484	10,168	9,859	9,348	8,847			▲ 1,283	↑
プライマリーバランス(発行額/償還額)	199.9	122.4	116.7	61.4	65.3	45.2	49.5	78.2	6	▲ 150.4	↑
地方債現在高倍率	200.4	210.0	213.0	203.9	199.7	188.9	176.7	184.3	15	▲ 23.7	↑

※地方債残高にはNTT債を含まないので、前年度との差引きが合わない場合がある。

〔表8〕将来の財政負担の状況（⇒将来的な財政負担の状況(ストック)はどうか。）

①地方債残高	10,130	10,352	10,484	10,168	9,859	9,348	8,847			▲ 1,283	↑
②債務負担行為支出予定額	152	133	124	379	280	214	180			28	↓
③基金現在高	2,174	1,975	1,998	2,023	1,818	1,836	1,883			▲ 291	↓
将来財政負担額(①+②-③)	8,108	8,510	8,610	8,524	8,321	7,725	7,144			▲ 964	↑
将来財政負担比率	160.4	172.6	175.0	170.9	168.5	156.1	142.7	168.0	11	▲ 17.7	↑
将来負担比率					115.5	102.0	88.8	116.4	10		

【国保等事業会計の状況】 ※国保(事業勘定)、国保(直診勘定)、老人保健、介護保険、介護サービスの特別会計

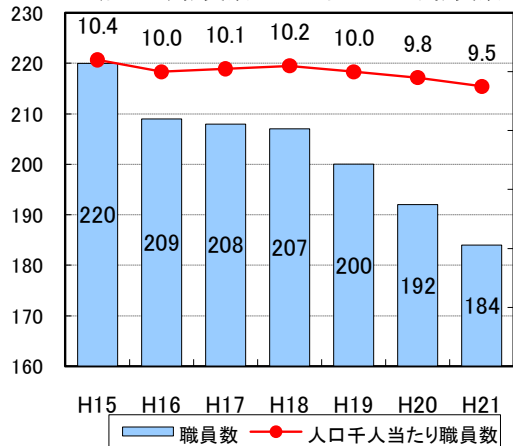
〔表9〕収支の状況

全会計の実質収支合計額		94	31	49	104	182	102	58			▲ 36	↑
上記の標財規模に対する割合		1.9	0.6	1.0	2.1	3.7	2.1	1.2	2.5	20	▲ 0.7	↑
実質収 支の内 訳	国保(事業勘定)	67	14	30	49	111	63	33			▲ 34	↓
	国保(直診勘定)				0	0	0	0			#VALUE!	#VALUE!
	老人保健	8	3	11	19	35	0	0			▲ 8	↓
	介護保険	19	14	8	36	36	37	23			4	↑
	介護サービス				0	1	2	2			#VALUE!	#VALUE!

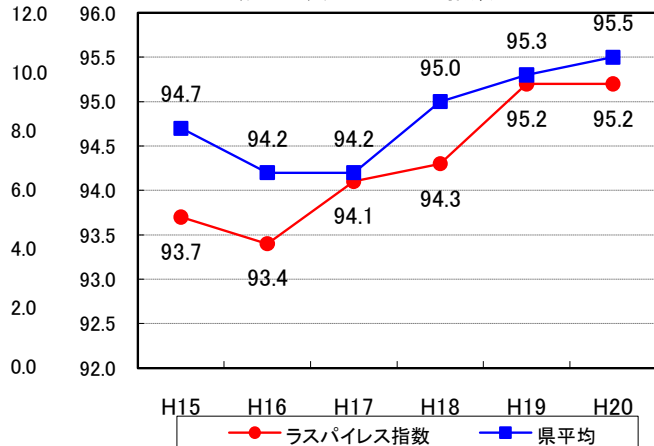
〔表10〕一般会計等からの繰入金の状況

全会計の繰入金合計額		513	547	561	570	590	425	443			▲ 70	↑
上記の標財規模に対する割合		10.2	11.1	11.4	11.4	11.9	8.6	8.8	3.0	32	▲ 1.4	↑
繰入 金 の 内 訳	国保(事業勘定)	221	239	220	229	225	200	213			▲ 8	↑
	国保(直診勘定)				0	0	0	0			#VALUE!	#VALUE!
	老人保健	124	122	144	150	165	6	0			▲ 124	↑
	介護保険	168	186	197	192	200	218	230			62	↓
	介護サービス				0	0	0	0			#VALUE!	#VALUE!

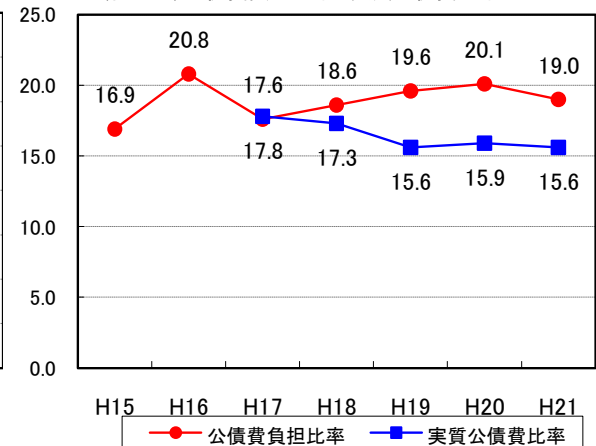
〔図5-1〕職員数と人口千人当たり職員数



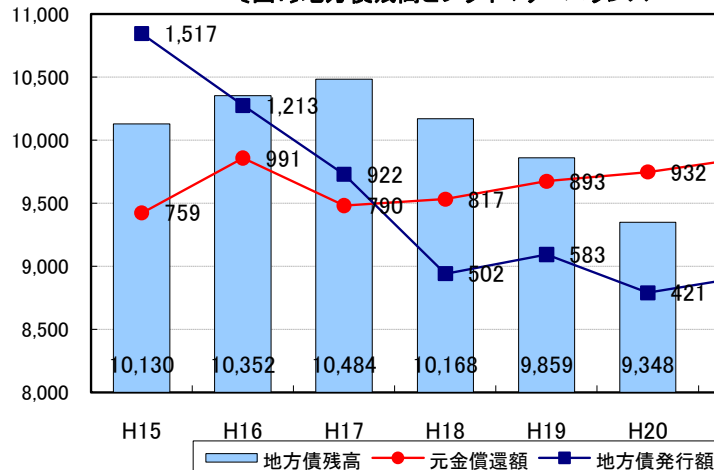
〔図5-2〕ラスパイレス指数



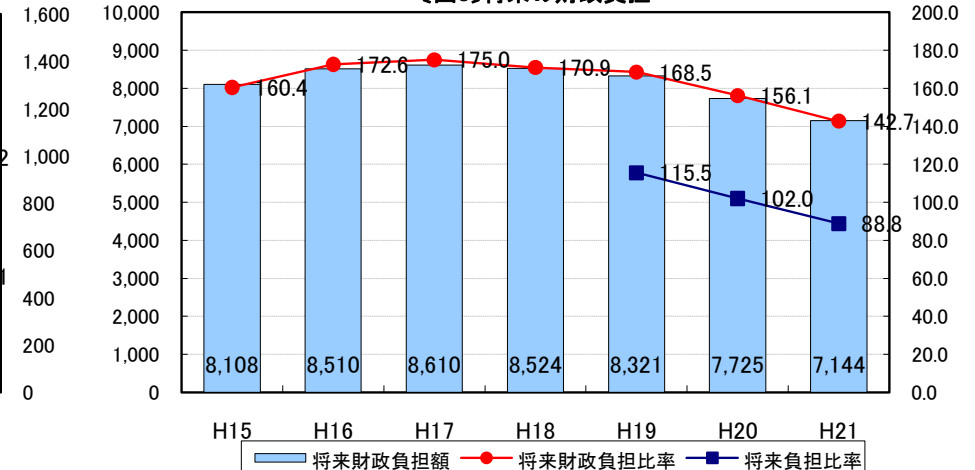
〔図5-3〕公債費負担比率と実質公債費比率



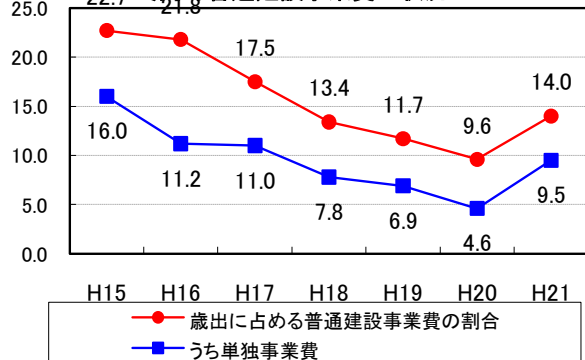
〔図7〕地方債残高とプライマリーバランス



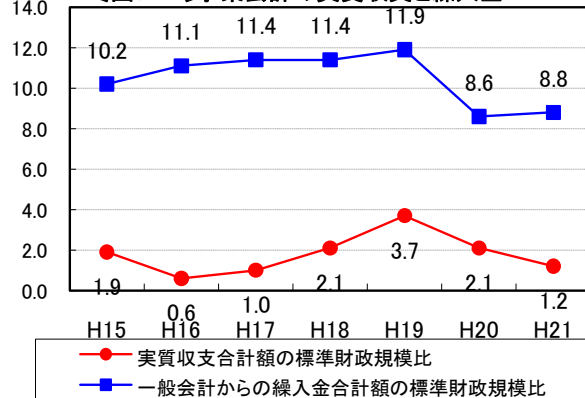
〔図8〕将来の財政負担



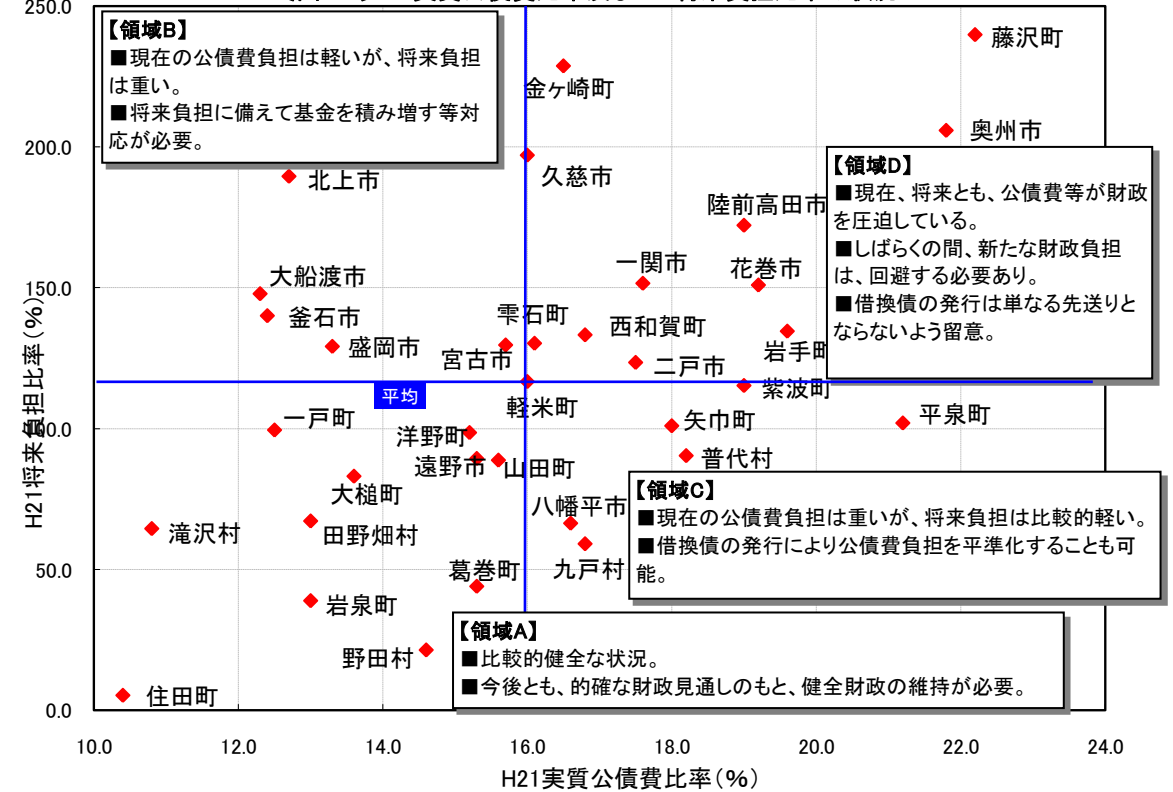
〔図6〕普通建設事業費の状況



〔図9・10〕事業会計の実質収支と繰入金



〔図5・8〕H21実質公債費比率及びH21将来負担比率の状況





市町村名 **山田町**

【公営企業の状況】

〔表11〕収支の状況 ※法適用は純損益、法非適は実質収支

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	県 平均 (H21)	H21年度の状況		
										順位	改善又は悪化の 傾向(H15比)	
全会計の収支合計額		28	31	31	29	16	0	▲ 3			▲ 31	↓
上記の標財規模に対する割合		0.6	0.6	0.6	0.6	0.3	0.0	▲ 0.1	0.5	31	▲ 0.7	↓
法 適 用 企	上水道	23	26	28	24	11	▲ 6	▲ 9			▲ 32	↓
											#N/A	#N/A
											#N/A	#N/A
法 非 適 用 企 業	簡易水道	2	2	2	2	3	4	4			2	↑
	公共下水道	2	1	1	1	1	1	1			▲ 1	↓
	漁業集落排水	2	2	1	1	1	1	0			▲ 2	↓
											#N/A	#N/A
											#N/A	#N/A
											#N/A	#N/A
											#N/A	#N/A
											#N/A	#N/A

〔表12〕資金不足の状況

資金不足比率											

〔表13〕一般会計等からの繰入金の状況

全会計の繰入金合計額	210	226	255	260	239	253	249			39	↓
上記の標財規模に対する割合	4.2	4.6	5.2	5.2	4.8	5.1	5.0	7.6	6	0.8	↓
うち基準外繰入金合計額	140	157	180	126	60	75	80			▲60	↑
法 適 用 企	上水道	0	0	0	0	0	0	0		0	↓
										#N/A	#N/A
										#N/A	#N/A
法 非 適 用 企 業	簡易水道	0	0	0	0	0	0	0		0	↓
	公共下水道	81	96	97	63	27	31	39		▲42	↑
	漁業集落排水	59	61	83	63	34	44	41		▲18	↑
										#N/A	#N/A
										#N/A	#N/A
										#N/A	#N/A
										#N/A	#N/A

【一部事務組合等への財政支援等の状況】 〔表14〕一部事務組合等への負担金、補助金の状況

補助金、負担金計	718	689	652	648	638	589	567			▲151	↑
貸付金計	0	0	0	0	0	0	0			0	↓

※「貸付金計」にはH20年度決算において「貸付残高」のある組合等を掲げている → 該当無し

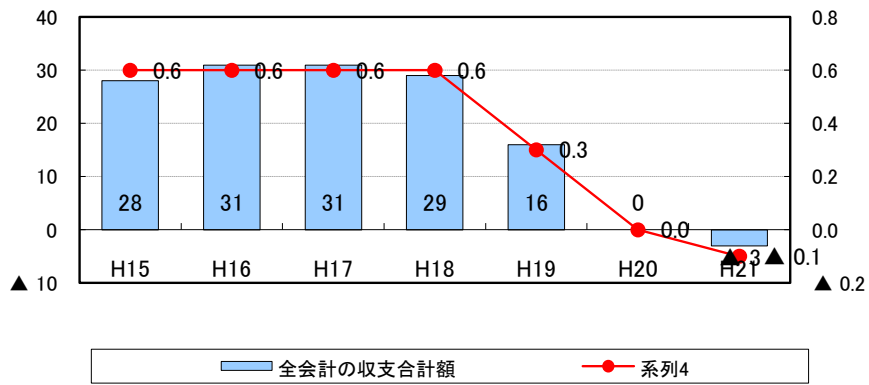
【土地開発公社への財政支援等の状況】 〔表15〕土地開発公社への補助金、貸付金、債務保証残高の状況

補助金	0	0	0	0	0	0	0			0	↓
貸付金	0	0	0	0	0	0	0			0	↓
債務保証残高	0	0	0	0	0	0	0			0	↓
平成19年度末の「供用済み土地」	-	百万円									
平成19年度末の「未収金土地」	-	百万円									

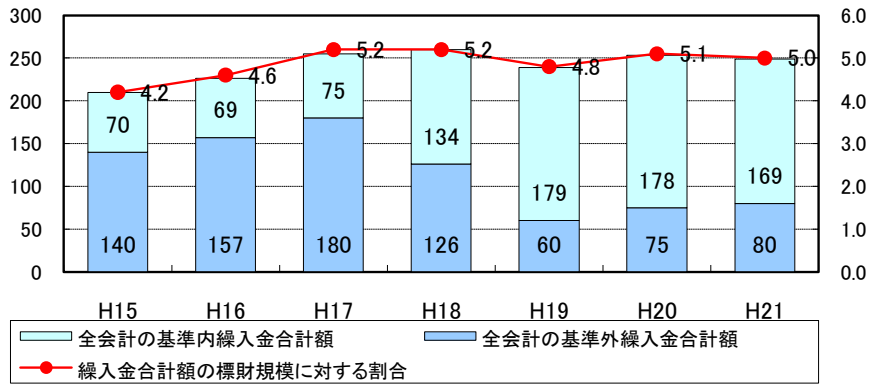
【第三セクターへの財政支援の状況】 〔表16〕第三セクターへの補助金、貸付金、損失補償残高の状況

補助金	0	0	0	0	0	0	0			0	↓
貸付金	0	0	0	0	0	0	0			0	↓
損失補償残高	0	0	0	0	0	0	0			0	↓

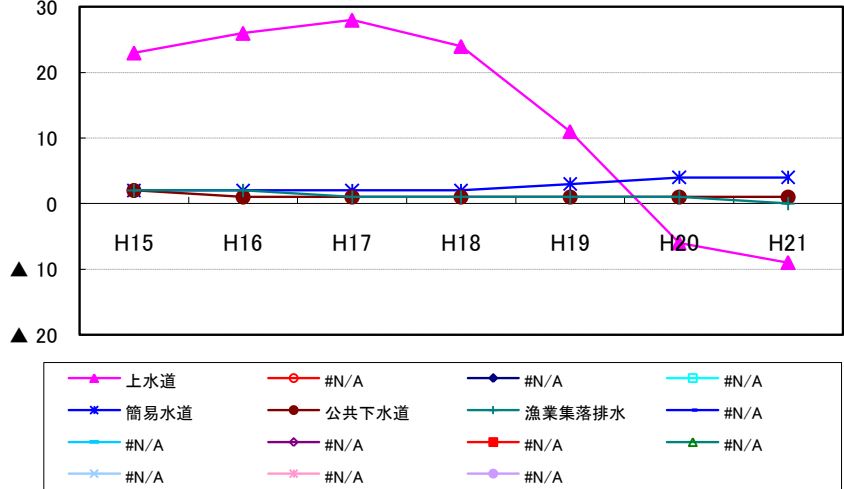
〔図11-1〕公営企業の収支の状況



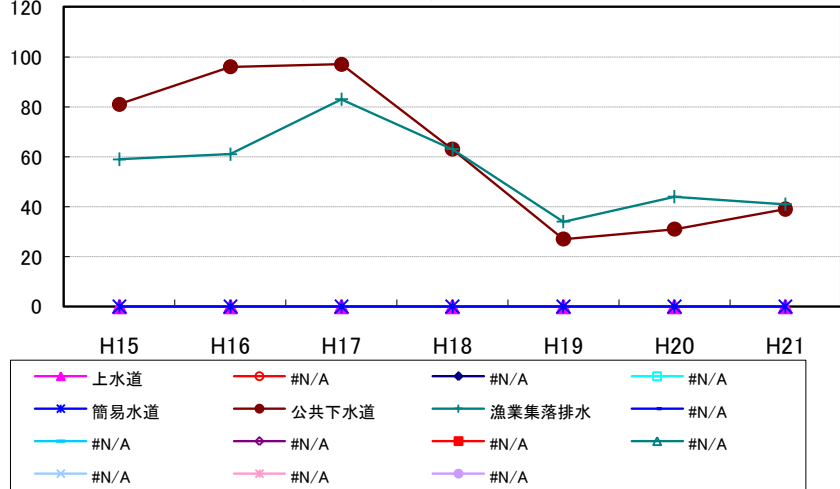
〔図13-1〕公営企業の繰入金の状況



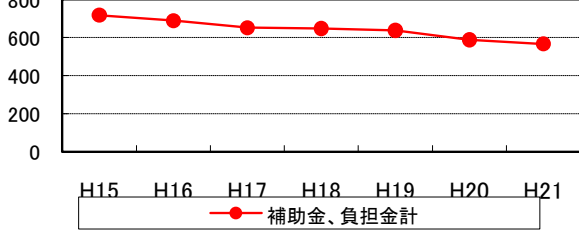
〔図11-2〕公営企業の収支の状況(会計別)



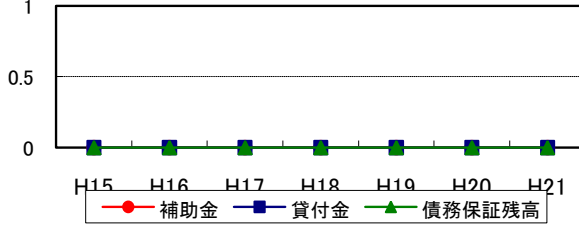
〔図13-2〕公営企業の基準外繰入金の状況(会計別)



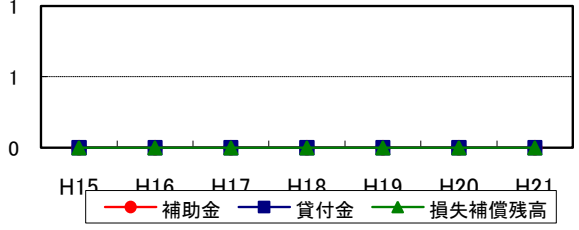
〔図14〕一部事務組合への財政支援の状況



〔図15〕土地開発公社への財政支援の状況



〔図16〕第三セクターへの財政支援の状況



〔図13-3〕H21企業債残高とH21公営企業の繰入金の状況

